

F. スピード F-1 タッピング

氏名：	記録日：	記録者：
-----	------	------

◆用意するもの：① 数取器，② タイマー

◆検者と被検者の位置：

被検者は椅子に腰掛け，楽な肢位で大腿の上に手を置く．検者は対面して座る．

◆検査手順：

- 1) 検者は被検者に数取器を見せながら，次のように言う：「これから手の動作スピードをしらべます」。
- 2) 大腿の上で被検者に数取器を持たせ，母指をレバーの上に置かせる。
- 3) 検者は「まず練習してみましょう．カチッと音がするまで親指でレバーを押してください」と告げ，レバーを押したときに数取器のカウンターが変わるのを被検者に確認させる．操作時に，途中で手が大腿から離れてもよい。
- 4) 検者は「こんどは合図の後，できるだけ速く繰り返し押してください．5秒間やっていたいただきます」と告げ，「よーい，スタート」と言って測定を開始し，5秒たったところで「やめ！」と言う。
- 5) 2試行実施後，反対側でも同様に行う。

◆記録：

数取器の値を読み取り，記録する．2試行の平均値を記す．

◆観察所見：特記事項があれば記述する．

	右 手			左 手		
	本来の（利き手・非利き手）			本来の（利き手・非利き手）		
	（健側・患側）			（健側・患側）		
	（優位手・非優位手）*			（優位手・非優位手）*		
	試行 1	試行 2	平均	試行 1	試行 2	平均
回数/5 秒	回	回	回	回	回	回
観察所見						

*優位手とは被検者が最も使いやすいと感じるほうの手

F. スピード F-2手の移動

氏名：	記録日：	記録者：
-----	------	------

◆用意するもの：① タイマー

◆検者と被検者の標準位置：

被検者は楽な姿勢で椅子に腰掛ける。手を軽く握らせ、前腕中間位で大腿部中央に置く（開始肢位）。検者は対面して座る。

◆検査手順

- 1) 被検者に開始肢位をとらせたのち、次のように言う：「こんどは腕の動作スピードを調べます。この位置から手を顎につけて、元の位置に戻してください。少し練習してみましょう。」
- 2) 動作が理解できたかどうか確認する。動作中、頸部が突き出たり、体幹が前屈しないように注意させる。
- 3) 正しく行えることを確認したのち、次のように言い、検査を開始する：「私が合図するまで、いまの動作をできるだけ速く、5秒間繰り返してください。よーい、スタート」。5秒経過後「やめ！」と言う。
- 4) 2試行実施後、反対側でも同様に行う。

◆記録：

手が顎に接触したら1回と数え、5秒間に手が顎に接触した回数を記録する。

◆観察所見：特記事項があれば記述する。

	右 手			左 手		
	本来の（利き手・非利き手）			本来の（利き手・非利き手）		
	（健側・患側）			（健側・患側）		
	（優位手・非優位手）*			（優位手・非優位手）*		
	試行 1	試行 2	平均	試行 1	試行 2	平均
回数/5 秒	回	回	回	回	回	回
観察所見						

*優位手とは被検者が最も使いやすいと感じるほうの手